

1. 雑草防除

○生育期にイネ科雑草が多発した場合は、除草剤を適切に使用しましょう。

【除草剤の散布の目安】

薬剤名	適用雑草	10a 当り使用量	使用方法	使用時期	使用回数
ナブ乳剤	1年生イネ科雑草 (スズメカサネを除く)	150~200 mℓ (水 100ℓ当り)	雑草茎葉 散布	雑草生育期(イネ科雑草 3~5 葉期) (但し、収穫 45 日前まで)	1 回

2. 害虫防除の徹底

ヨトウムシ (ハスモンヨトウ・シロスジアオヨトウなど) は 9 月中旬以降に突発的に発生することが多く、早期発見・適期防除が重要です。

- 播種時期の早い圃場や生育の旺盛な圃場を中心に
見回り、**被害が見え始めたら早急に防除を行いましょ**
う。
- 薬剤散布をする場合は幼虫が小さいうちに行いましょう。
- 団地化された地域では、誘殺用フェロモントラップの
圃場への設置が被害の発生防止に有効です。



ハスモンヨトウ (幼虫)

【そばに登録のある殺虫剤】

害虫名	薬剤名	使用時期	使用回数	希釈倍数・使用量
ハ ス モ ン ヨ ト ウ	ロムダンフロアブル	21 日前まで	2 回以内	2,000 倍・100~300 L/10a
	ロムダン粉剤 DL	21 日前まで	2 回以内	4kg/10a
	クオークフロアブル	発生初期 (収穫前日まで)	—	400 倍・150~300 L/10a
	ゼンターリ顆粒水和剤	発生初期 (収穫前日まで)	—	2,000 倍・100~300 L/10a
	フェニックス顆粒水和剤	収穫 7 日前まで	2 回以内	2,000~6,000 倍・100~300 L/10a

【フェロモントラップ:ハスモンヨトウ雄成虫誘引剤】

薬剤名	目的	使用量	設置時期
フェロディンSL	ハスモンヨトウのオス成虫を 広域的に大量に誘殺	1 個 (台) /30a (1.5~2 ヶ月有効)	播種後 2 週間後頃に 設置



フェロモンに誘引された
ハスモンヨトウのオス成虫

誘殺用フェロモントラップの設置方法

- ・トラップの種類: ファネルトラップ
- ・設置時期: 成虫の発生初期(播種 2 週間後頃)
- ・設置場所
 - ▶ 団地化された作付け地域で広範囲に使用する
 - ▶ **圃場周辺部の風通しのよい場所**
 - ▶ 播種時期が早く生育が旺盛なほ場
- ・設置高: 地上 1~1.5m(そばの草丈より高く)
※支柱などを立て、固定してください。
- ・設置数: 30a 当たり 1 台(2~4個/ha)
- ・その他: トラップに捕殺された成虫は適宜処分してください



ファネルトラップの設置



ハスモンヨトウ
(雄成虫)